

そらいろ保育園における自己評価 令和4年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	毎月の指導計画や日案等で保育の振り返りを行っている。年間を見通した取り組みがまだ不十分なところや、いろいろな遊びや素材を十分に活用できていないところがあるため次年度の保育に繋げるよう努めていきたい。
保育について	コロナ対策を行いながらいろいろな活動や、できる事を考慮し、工夫しながら取り組みをした。肯定感を持った言葉がけや自信をもてるような働きがけをし、個々の関わりを大切にしたい保育を行うようにしている。全職員が子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受け止め、状況に応じた対応はしているが、適切な対応が常に行えない場合がある。場面に応じ、丁寧な指導を行うことに努めていきたい。
行事	行事についての取り組みは、各クラス連携を取りながら、日々の保育の内容の中から進めていくようにし、子どもたちが親しみを持って参加できるよう努めている
研修	研修に参加することで、日々の保育を見つめ直したり、自分の考え方と異なった考え方を知ることで、新しい知識や考えを知り、保育を考え直す機会になった。
家庭・地域との連携	保護者対応については保護者の思いを理解することに努め、丁寧に対応するように心がけている。
安全対策	事故防止については、ヒヤリハット報告書に記入し、職員間で安全対策のため、情報を共有している。
情報発信	保護者への情報は園だより、献立表、食育だより等で発信しているほか、連絡帳や降園時に直接伝え、日常の保育に関して、日々の様子を伝達している。
情報保護	守秘義務の周知徹底に努めると共に、書類等個人情報に関わるものに関しては鍵のかかる場所に保管している。
調理内容	調理担当者が給食時に子どもたちの喫食状況を把握することにより、充実した給食の提供を行えるようにしている。
健康管理	登園時の視診、検温、保護者への聞き取り、連絡帳などで体調や怪我を把握し、職員間で報告し合い、対応している。コロナをはじめ、感染症予防を内外ともに周知できるよう、掲示、書面配布など見やすいよう工夫することに努めていきたい。
事務管理	事務処理で疑問を感じたら資料やネットで調べ、積極的に専門機関に聞くなどして、迅速かつ適切に処理できるよう努める。